

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2016-160014(P2016-160014A)

【公開日】平成28年9月5日(2016.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2016-053

【出願番号】特願2015-38281(P2015-38281)

【国際特許分類】

B 6 5 H 31/36 (2006.01)

B 6 5 H 37/00 (2006.01)

B 6 5 H 5/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/36

B 6 5 H 37/00

B 6 5 H 5/02 Q

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月25日(2017.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートに搬送力を付与する無端ベルトと、

前記無端ベルトの外周部と当接し前記無端ベルトとともに回転する回転部材と、
を備え、

前記無端ベルトの外周部は、

前記無端ベルトの幅方向に延びる第1凸部を、前記無端ベルトの周方向に複数有し、

前記幅方向は、前記回転部材の回転方向と交差する方向であり、

前記回転部材は、前記回転部材の周方向に延び前記無端ベルトの前記外周部に当接する第2凸部を複数有し、複数の前記第2凸部は、前記幅方向に並んで配置されている、ことを特徴とするシート搬送装置。

【請求項2】

前記無端ベルトの内周部と接触する内周部回転部材と、

前記回転部材と前記内周部回転部材との少なくとも一方に駆動力を付与する駆動手段と、
を備えることを特徴とする請求項1に記載のシート搬送装置。

【請求項3】

複数の前記第2凸部は、前記回転部材の外周を形成していることを特徴とする請求項1又
は2に記載のシート搬送装置。

【請求項4】

前記無端ベルトの外周部は、複数の前記第2凸部よりも軟質の材料で形成されていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載のシート搬送装置。

【請求項5】

前記回転部材と前記内周部回転部材とは、前記無端ベルトを挟んで対向する位置に配置さ
れていることを特徴とする請求項2に記載のシート搬送装置。

【請求項6】

搬送部により搬送されたシートを積載するシート積載部と、

前記シート積載部に搬送されたシートを搬送するシート搬送装置と、
前記シート搬送装置に搬送されたシートの端部を規制するシート端規制部材と、を備え、
前記シート搬送装置は、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置であるこ
とを特徴とするシート集積装置。

【請求項 7】

前記無端ベルトは、

前記シート積載部の上方に配置され、

シートの積載量に応じて歪曲変形する素材で形成されていることを特徴とする請求項 6 に
記載のシート集積装置。

【請求項 8】

前記無端ベルトは、

前記搬送部がシートを搬送する搬送方向の逆方向にシートを搬送することを特徴とする請
求項 6 または 7 に記載のシート集積装置。

【請求項 9】

シートに所定の処理を施すシート処理手段を備えることを特徴とする請求項 6 から 8 のい
ずれか 1 項に記載のシート集積装置。

【請求項 10】

前記シート処理装置は、シート束を綴じ処理する綴じ処理手段、シートにファイル穴を穿
孔する穿孔手段、シートに捺印するスタンプ手段、シートを折り処理する折り処理手段、
シートをトリミング処理する断裁手段、から選択される 1 つの手段であることを特徴とす
る請求項 9 に記載のシート集積装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を達成するため本発明のシート搬送装置は、シートに搬送力を付与する無端ベ
ルトと、前記無端ベルトの外周部と当接し前記無端ベルトとともに回転する回転部材と、
を備え、前記無端ベルトの外周部は、前記無端ベルトの幅方向に延びる第 1 凸部を、前記
無端ベルトの周方向に複数有し、前記幅方向は、前記回転部材の回転方向と交差する方
向であり、前記回転部材は、前記回転部材の周方向に延び前記無端ベルトの前記外周部に当
接する第 2 凸部を複数有し、複数の前記第 2 凸部は、前記幅方向に並んで配置されてい
ることを特徴とする。